



# Rekitomo Newsletter



\*\*\*\*\*

## 歴博友の会 20周年を祝って

新潟県立歴史博物館友の会会長 鈴木重吉

友の会 20周年おめでとうございます。多くの皆様方のご尽力により今日を迎えられましたことに心から感謝申し上げます。

振り返れば平成3年、県の長期構想に掲げる「県立歴史民俗博物館と中越社会文化施設（縄文文化館）の構想を一体の施設として整備する」とした基本構想が策定され、平成4年には長岡出身で世界的に高名な考古学者・小林達雄・國學院大學教授を中心とした基本計画検討委員会が立ち上げられ、平成9年に本体工事が着工されました。

奇しくもこの年、私は長岡市長より「長岡市西部丘陵地利用計画検討委員」を委嘱され商工会議所会頭を委員長に検討が進められた時期で、博物館誘致による地域発展に期待が大きく膨らんだことが懐かしく思い起こされます。

平成12年7月29日は開館記念協賛事業として、野外コンサート「土取利行縄文鼓の世界」が開催されました。暮れなずむ芝生広場にかがり火が焚かれ、幻想的雰囲気の中で地の底から沸き立つような太鼓の鼓動があたかも縄文時代にタイムスリップしたような錯覚を誘い、その不思議な感動に何とも言えない親しみと安らぎを覚えたものでした。迎えて8月1日は待望の開館、記念特別展の「ジョウモネスク・ジャパン」は予想をはるかに超える来館者で埋め尽くされ大盛況でした。

博物館開館と同時に「友の会」も結成され県内各地から入会いただき、中でも全国の遺跡や博物館などを巡る研修旅行には小林名誉館長（現友の会顧問）に同行していただき直接ご指導いただける貴重なチャンスということで、参加者には大いに喜んでいただいております。さらには友の会主催の展覧会「マイ・コレクション・ワールド」も小林館長（当時）のご提案で、これも年を重ねるごとに充実した展覧会に成長し、会の中心的事業として今日に至っております。

さて、今日の社会環境を診るに、人類が国の内外を問わず自然界の摂理を無視し経済第一主義で突き進んできた結果、環境破壊に起因する自然災害の多発をはじめモラルの劣化や格差社会の拡大など、将来への不安が増大しています。

これを次世代への負の遺産としないためには「縄文」をキーワードとした「再生」に向けて、真の豊かさとは何かを見極め覚醒する時ではないでしょうか。

日本人の感性の根底には、縄文時代からの「山川草木国土悉皆成仏」という「自然と共生」して来た智慧があり、サステナビリティの手本となる高度な狩猟採集生活を基に、共助によるコミュニティで成り立って来た歴史があります。幸いにも私たちは友の会の活動を通じて、歴史、風土、文化を身近に考察できる環境にあります。ぜひ友の会の活動を通じて混沌とした環境を是正し得る「カギ」と注目されている「ジョウモン」に思いを重ね、環境の歪み是正の一助としていただければと思っております。

結びにあたり、友の会をご支援いただく歴代職員の皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げ、会の更なる発展と会員諸氏のご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

\*\*\*\*\*



# 新潟県立歴史博物館友の会 20年を振り返る (ザックリとですが…)



2000年(平成12年)博物館の開館と同時に  
8月1日 新潟県立歴史博物館友の会発足

2004年(平成16年)3月6日  
「第1回マイ・コレクション・ワールド」開幕



マイ・コレクション展の発案者・  
小林達雄館長(当時・現名誉館長)も  
出品。楽しく展示解説されました。

2004年(平成16年)10月23日 17:56  
新潟県中越大震災！！



新潟県中越大震災復興支援展覧会  
「震度7 それでもわが大地を愛す」  
2005年(平成17年)  
3月12日～4月6日



開場式には原田泰治先生  
にお越しいただくことが  
できました。

【2020年度事業計画より】  
『友の会20周年記念誌』刊行  
2021年3月31日発行(予定)  
今後、会員からも原稿を募集の予定です。  
ご期待ください。



準備から撤収まで、友の会員など  
大勢で作上げた展示となりました。

全国各地に“研修旅行”

2014年(平成26年)～里山きのご観察会



2013年(平成25年)～博物館整備事業



ほかにも、“会員のつどい”や  
コンサートなど多彩に事業展開中

友の会同士の連携 2009年(平成21年)～  
新潟県内博物館等友の会連絡会発足



第2回友の会サミット(2011)は  
歴博で開催しました。

2007年(平成19年)7月16日 10:13  
新潟県中越沖地震！！



旭山動物園にて

北は北海道から

2009年(平成21年)～  
映画上映会



2011年(平成23年)  
3月11日14:46  
東日本大震災！！



監督挨拶をお願いすることも…

社会的な課題をテーマ  
とするものなど、多彩な  
内容の映画を選定



サカタリ洞窟にて

南は沖縄へ…



研修旅行で訪問した都道府県  
24都道府県を訪問(新潟県を含む)。  
47都道府県の半分を制覇！



三内丸山遺跡  
も訪れ、



出雲大社の改修の  
現場に立ち会うこ  
ともできました

## 2020年度 新潟県立歴史博物館 新入職員紹介

高井 勝幸 Takai Katsuyuki 副館長

旧黒埼町在住で、黒埼PAから長岡ICまで高速道路を利用して通勤しています。

中学生の頃に日本史、特に戦国時代から戊辰戦争あたりに興味を持ち、司馬遼太郎の国盗り物語などの歴史小説を読んだり、プラモデルの大阪城などを作ったりしていました。

現在の趣味は、日本100名城と続日本100名城を訪問しての記念スタンプ収集です。

100名城の残りは、北海道、九州沖縄で、今年は北海道を制覇しようかなと思っていましたが、厳しそうです。代わりに中部地方などの続100名城を車で巡ろうと思います。

さて、博物館ですが、お城にある博物館はお城巡りの際に見学したりもしましたが、博物館での鑑賞を目的に訪問したことはほとんどありませんでした。これからは時間を見つけて県内や近県の博物館などをできるだけ訪問して、当館と比較などしながら、活性化のヒントを探っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



(左から) 種岡・高井・林

林 吾朗 Hayashi Goro 経営企画課主任 (管理担当)

4月1日付けで長岡地域振興局 健康福祉環境部から異動してまいりました林です。皆さんのお仲間に入り早くも4か月が過ぎますが、まだまだ覚えることが多く、周りの方々に助けていただいている毎日です。

この4月まで長岡市内に住んでいたこともあり、当館には2年ほど前に、妻と二人で足を運んだことがありました。恥ずかしながら、博物館や美術館にあまり縁のない生活を送ってきましたので、何も知識のない状態で展示を拝見しましたが、縄文時代の生活を間近で感じ取れる実物大ジオラマや、昭和の時代を再現した雁木通りなどは非常に魅力的で、こう言っては語弊があるかもしれませんが、期待以上に楽しませていただいたことが印象に残っています。

過去の私のように日常的に博物館に通う習慣のない方たちにも当館の魅力的な展示を知ってもらい、また、来館された際には気持ちの良い時間を過ごしていただけるよう、これから尽力していきたいと思っています。

皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

種岡 和也 Taneoka Kazuya 経営企画課専門研究員 (交流普及担当)

南魚沼市立北辰小学校より異動して参りました種岡和也と申します。自宅は柏崎市です。

歴史の学習が好きで、歴史博物館には何度か学校の子供たちと見学にきました。その歴史博物館に勤務できることを大変うれしく思います。

4月以降、博物館の皆様から歴史(縄文時代他様々な出来事)についてたくさんのお話を教えていただいています。「びっくり!」「そうだったのか!」「なるほど!」と自分の細かい目が大きく見開くほど毎日新しい発見と感動があり、とても楽しく仕事をさせていただいています。

これから努力を重ね、小中学生や来館される方々に「歴史博物館」をしっかりと紹介できるようになりたいと思っています。皆様、ご指導よろしくお願ひ致します。

2000年8月1日に開館した新潟県立歴史博物館。その開館と同時に発足した新潟県立歴史博物館友の会。つまり、当友の会は、博物館と20年の歩みを同じくしてきました。

しかしその20周年の今まさに、新型コロナウイルスによって大変な時を迎えています。何ができるのか、または何ができないのか。その判断を迫られつつ、新しい生活様式に基づいて諸事業を推進していかなければなりません。

そのような中で事業推進するには、何よりも会員の皆様のご理解、ご協力あってのこととなります。種々お知恵をいただきたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。(事務局T)

## 新潟県立歴史博物館友の会会報 No.18

2020年8月1日発行

[事務局] 新潟県立歴史博物館 経営企画課内  
〒940-2035

新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂 2247番2  
TEL 0258-47-6135・6141 FAX 0258-47-6136  
E-mail rekitomo2014@yahoo.co.jp